

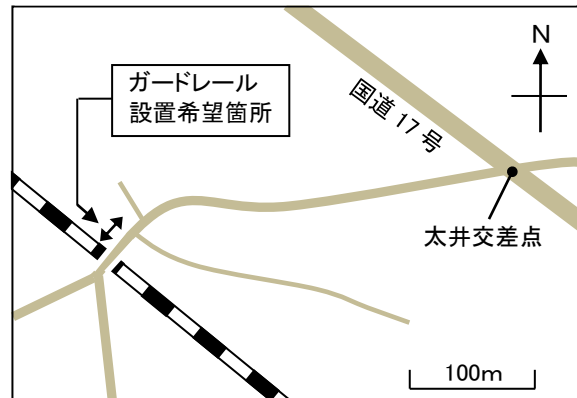
## 久下小学校区ハートフル・ミーティングの概要

- 1 日 時 平成 25 年 6 月 1 日 (土) 午前 9 時 30 分から 11 時 30 分
- 2 場 所 久下公民館
- 3 参加者 39 人
- 4 会議の概要

(1) 安全、安心 (主に防犯・交通事故等) なまちづくりについて

市民

国道 17 号の太井交差点から久下小学校の方に向かうと、途中で高崎線の踏切を渡ります。この踏切の前は、道幅が狭くて危険です。私もその場所で車と接触をしたことがあります。安全のため、ガードレールを設置していただくことはできないでしょうか。

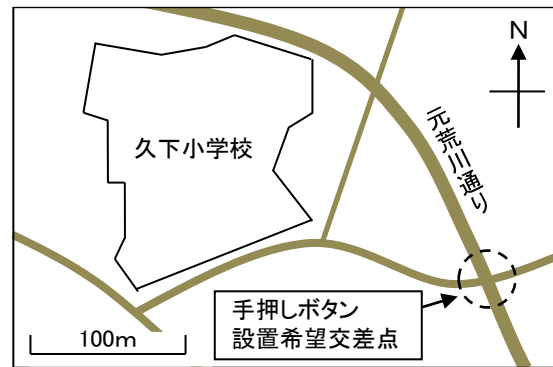


市長

ガードレールのほかにも、ラバーポールを設置する方法などもあります。どのような方法で対応するのが良いのか、まずは現場を確認させていただきます。

市民

久下小学校の東にある交差点は、たくさんの小学生が通学路として利用しています。しかし、スピードを出して通る車が多い上に、信号待ちをする場所が少ないので危険です。信号機に手押しボタンを付けていただくことはできないでしょうか。



市長

この場所のことは事前にお話を頂いておりましたので、信号機を設置する権限を持つ警察にお願いをしてみました。しかし、既に 100 か所以上の交差点で信号機を設置する要望が出ているため、なかなか対応ができないということでした。そこで、市ができる対策として、交差点の周囲にラバーポールを立てて信号待ちができる場所を確保したいと思っております。

市民

久下荒川緑地のサッカーコートでグラウンドゴルフを楽しんでいます。しかし、随分と遠回りをしないと土手を越える道がありません。そこで、命綱

を使って土手の急斜面を上り下りしていますが、危ないので階段を造っていただけないでしょうか。

市長

場所を確認した上で、土手を管理しているのは荒川上流河川事務所（国の管轄）に地元の御要望としてお伝えをしたいと思います。

市民

「ゆうゆうバス」のさくら号とグライダー号、ムサシトミヨ号の3路線について、市役所の担当課で資料を見せてもらいましたが、利用者の数が随分と少ないようです。その一方で、この3路線をバス会社に委託している費用は2,867万円と高額でした。路線の廃止も含めて、もっと効果的な経費の使い方を考えてもよいのではないのでしょうか。

市長

確かに、利用者一人当たりで考えると、非常に経費がかかっています。しかし、ゆうゆうバスは、民間のバス会社が採算を取れずに撤退をした所にも何らかの交通手段を確保してほしいという地元の皆さんからの御要望を頂いて始めたものです。もともと採算を取るのが難しい路線だということは御理解を頂きたいと思います。また、利用者の数は少なくても、廃止をしたときの影響の大きさを考える必要があります。ゆうゆうバスの路線やバス停の位置などについては「熊谷市地域公共交通会議」という団体で議論をしておりますので、頂いた御意見もそちらにお伝えをしたいと思います。

## （2）災害に強いまちづくりについて

市民

数年前の夜に、荒川の土手で火災がありました。ちょうど用事があって外出していたので、自宅が心配で電話をしましたが、家族は現場を見に行っていないつながりませんでした。その間、知人から「火が燃え広がっているようだ」というメールが写真付きで次々と送られてきましたが、このような情報は詳しいことも正確なことも分からないので、とても不安になりました。こういった場合に正確な情報を確認できる場所はあるのでしょうか。

市長

消防本部で確認をすることができます。また、携帯電話やパソコンで「メルくま」に御登録を頂くと、市内の火災発生情報をメールでお伝えしています。ただ、ほとんどが小規模な火災のため、鎮火をしたことまではお伝えしておりません。この点については、少し考えてみたいと思います。

市民

東日本大震災のとき、新幹線の車内に取り残された帰宅困難者を熊谷文化創造館さくらめいとで一晩受け入れたとお聞きしました。もし同じようなことがまた起きたとき、市内のデパートなどでは、どのような役割を担うのでしょうか。

危機管理監

デパートなどの大規模商業施設とは、帰宅困難者の受け入れではなく、緊急物資の提供をしていただく協定を結んでいます。また、市ではJRや秩父鉄道、熊谷警察署と一緒に、帰宅困難者対策についての意見交換会を定期的に行っています。

市長

大規模商業施設には、いざというときにお客様の安全を確保できるように社内訓練をしっかりと行っていただけるように働きかけていきたいと思っております。また、今年度は、帰宅困難者が駅から受入先の施設までスムーズに移動できるように、途中の道路に道案内の標示を行います\*。

※ 熊谷駅から熊谷会館と市立文化センター文化会館までの間と、籠原駅から熊谷文化創造館さくらめいとまでの間に路面標示を行います。

市長

久下小学校区では、複数の自治会に自主防災組織を結成していただいております。防災訓練の様子を教えてくださいませんか。

市民

久下熊久自治会では、ちょうど明日、防災訓練を実施します。はじめに消火器の取扱法などの訓練を行い、最後には各団体が持ち寄った思い思いの食材でグルメ的な要素を取り入れた炊き出し訓練を行う予定です。

市長

ありがとうございます。防災訓練は、はじめから難しいことをたくさんやろうとしても、おっくうになってしまいます。今お話を頂きましたように、まずは地域の皆さんが集まって、おいしいものを食べて、「今日は楽しかったね」というところから始めていただければ十分だと思います。そうやって日頃から訓練を繰り返して、顔なじみを作っておいたり、防災に取り組む姿勢を地域で共有しておいたりしていただくことが、いざというときの役に立つのだと思います。東日本大震災のときも、地域のコミュニティがしっかりしているところは、避難所の運営などもとてもスムーズにいったそうです。是非、日頃からの訓練を通じて、お互いのコミュニケーションを図っていただければありがたく思います。

市民

頂いた資料を見ると、「避難場所」が「避難地」と「避難所」に分かれています。どのような違いがあるのでしょうか。

危機管理監

例えば、大規模地震が起きたときには、最初に御自宅に近い空地や公園などの広い場所に一時的に避難をして余震に備えていただきます。この場所が「避難地」です。次に、自宅の損壊がひどかったり、何らかの理由で自宅に戻れなかったりした場合に、小学校などの施設に避難をしていただきます。この場所が「避難所」です。このように言葉を使い分けています。

市長

避難地や避難所に避難をするときには、皆さんに是非お願いをしたいことがあります。地域には、自力で避難をすることが難しいお年寄りや障害をお持ちの方たちがいます。そういった方たちを誰がどうやって避難させるのかを是非、日頃から検討して準備してみてください。まさにそれが自主防災組織を結成する大きな目的のうちの一つです。

市民

熊谷市では防災準備を進めるに当たり、どの程度までの被害を「最悪の事態」として想定していますか。

危機管理監

地震については、深谷断層によってマグニチュード7.5、震度6強の地震が発生し、最大で死者が40人、1,000棟以上の家屋が焼失するか900棟の家屋が全壊するという想定をしています。また、洪水については、200年に一度あるかないかといった頻度ではありますが、堤防が切れると、市内のおよそ7割近くが程度の差はあるものの浸水をする想定しています。平成21年に地震と洪水のハザードマップを作って各御家庭に配布をしましたので、そちらも御覧になってみてください。危機管理室でもお配りをしています。

市長

水害が起きると水位が上がるので、小学校の体育館が避難所として使えなくなることも想定されます。そのため、校舎の2階や3階を避難所として使う準備も進めていきたいと思っております。

市民

久下小学校の体育館は、耐震化のためにこれから建て替えるところだと聞いています。水害のことも考えて、2階建ての体育館にさせていただくことはできませんか。

市長

これから造る体育館は、財政的な理由から全て平屋で造ります。2階建てに

すると5億円から6億円かかりますが、平屋であればその半分から6割ぐらいでできます。そうしないと、いつまでたっても耐震化を進めることができませんので、そのようにさせていただいております。

市民

体育館を平屋で造るとしても、盛り土をして少しでも高い所に建てることはできないでしょうか。

市長

盛り土をして段差ができると、子どもたちは平気でも、普段、敬老会などの催しで体育館を利用している高齢者には大変ですから、平らな状態の方が良いと思います。

市民

熊谷市は人口密度が高い地域であるにもかかわらず、下水道の普及率が50%に達していません。一方、私の家族が住む新潟県魚沼市の下水道普及率は、豪雪地帯の山村が含まれているにもかかわらず、熊谷市よりずっと高い数字です。また、魚沼市では、ごみ収集のときに使うごみ袋を有料にしています。熊谷市でもごみ袋を有料化して、その代わりに下水道の普及率を上げることはできないでしょうか。

市長

はじめに、ごみ袋の有料化と下水道の普及率はそれぞれ別の問題であり、因果関係にあるものではないということは皆さんに御理解を頂きたいと思っております。これまで、熊谷市の下水処理事業では、公共下水道と農村集落排水、合併処理浄化槽の3つの処理方法で整備を進めてきました。農村集落排水は、新たに始めるつもりはありませんので、今後は公共下水道と合併処理浄化槽の2つの方法で進めていきます。ただ、公共下水道は非常に単価が高いため、市街化調整区域では合併処理浄化槽をお願いをしたいと思っております。また、ごみ袋の有料化をする前に、皆さんにごみの減量化に御協力を頂き、少しでもごみ処理単価を下げられるように努力していきたいと思っております。ただ、数年先には有料化を考えなくてはならない時代が来るようにも個人的には思っております。

### (3) 地域活動等の報告

市民

久下小学校区連絡協議会について、簡単に御紹介をさせていただきます。

当連絡協議会には、自治会や公民館、民生児童委員、長寿会、子ども会、婦人会、消防団、PTAなどの各種団体が参加をしています。主に、次のような活動を行っておりますので、地域の皆様に御承知おきいただければありがたく思

います。

- ・ ボランティアによる防犯パトロール、小学生への交通安全指導、感謝の会の実施
- ・ 学校ビオトープの清掃、ザリガニ駆除
- ・ ホタルの放流、鑑賞会の実施
- ・ 郷土かるた大会の実施、郷土かるたの表示板の設置
- ・ 敬老会、体育祭などの各種イベントの実施

#### ○ 市長のまとめ

今日は皆さんから貴重な御意見を聞かせていただき、本当にありがとうございました。皆さんが交通安全のことを始め、子どもたちのことに気を使っていたことが分かり、大変うれしく思っております。やはり、子どもたちは熊谷市と地域の宝物です。皆さんと同じように、私も子どもたちがいつまでも光り輝けるようにと願っております。今日頂きました御意見のうちで可能なものは早速対応をさせていただき、検討課題として持ち帰らせていただくものについては十分に精査をしたいと思っております。今日は長時間お世話になり、ありがとうございました。これからもどうぞよろしく願いたします。